

木の葉繪の具と御命名を頂きて

静岡 藤枝幼稚園 岡 田 せ 代

淺學の身を以て此貴き御紙面を拜借致します事は誠に不本意で御座いますが、先輩であり、常に後輩の指導の爲に御盡力下さいます本縣燒津常盤幼稚園長松岡靜子先生がこの度御上京遊ばされ、女高師附屬幼稚園を御參觀の由伺ひましたので、私も御同伴を願ひ、數年來私共園にて幼児と共に興味を以て試みて居ります植物材料自然色(草木の葉を主とし花果皮等を細粉させる物)見本の一部三十種及應用畫を持參附屬幼稚園へ御伺ひ致しました。

當日は恰も本學期始の日にて、倉橋先生には非常に御繁忙にていさも御貴重なるお時間中で在らせられましたが、松岡先生の御紹介にて私共の御願をお快く御聞届け下され、右携帶致しました幼児製作品に就き御懇に御覽下さいまして種々御高教を賜り、尙御親ら糊刷毛をお手に數種の材料を御試用下さいまして御美事に「木の葉繪の具」御命名下さいました。是迄幼児は唯おこなごし申し、私共は自然色

申すのみで御座いましたのに、此度計らずも貴き先生より幼児にふさはしき名稱を賜りました事は誠に有難い事でした。

尙ほ其節は御獎勵の思召を以て

「藤枝の君が骨身を粉に碎き

考へ遂げし木の葉繪の具哉」

とお書き添へ下さいました事は實に有難き極みに存じました。然し之は決して私共個人への爲では御座いませんで、頑是なき多數幼児の數年來自發的にうけつぎつぎで積み上げました幼児の努力に對し、幼き者の魂への御溫き御いたはりのお言葉ご感銘致す次第で御座います。此さゝやかなる作業にこゝまらず、他日何等かの大事業への進路をお與へ下さいましたものご先生の深い思召を有難く存じます。尙お歴々の保姆先生方にも御多忙中御熱心に御覽下さいまして御懇に御導き下さいました事は、之亦有難い事

座います。尙其節此事に就て原稿をも書いて見よと迄仰せ下さいましたお言葉に甘へ不遜乍ら其一端を述べさせて頂く事に致しました。

昨年は奈良女高師森川先生静岡御出張を幸ひ、恩師林成子先生の御紹介にて右につき御高覧を賜り御懇なる御示教を頂きました事も忘れ難き感激で御座います。林先生には其始め、此種子を蒔いて頂きました恩人、松岡先生は此芽生を培つて下さいましたお方で御座います。御有名の膳、望月兩先生お始め、自然物應用につき深き御研究の諸大家先生より種々常々御感化を頂いて居ります事で御座いますが、私共園に於きましても田舎の事にて比較的材料を得易くありますから、幼児達も種々な形を造り、弄ぶ事や貼つて繪



(園稚幼枝藤)び遊なこお

なす事なきも致して居りますが、數年前よりふこした事から左記の遊びをはじめていつまでもつゞけ、次第に多少なりと進歩して参りました。

一、木の葉繪の具とは何か

自然に捨てられ勝の草木の葉、花、果物の皮等を日に干し、又多少乾燥し難き物は火力を加へて粉にして見ました處、數限りもない美しい色の物が出来る事が分りました。幼い園児達は、皆喜んで自分分で自由に材料を選択し興味を以て製作(但火力を要するものは乾燥させたる後與ふ)し色々の變つた色を殖す事や、香の良い物を見出して喜んで居ります。乾燥の工合により同種の材料でも多少異つた色が出来ますので色々に應用さ

れます。之が木の葉繪の具と御命名を頂いた物で御座い

ます。

一、設備及幼兒生活

墓塵内外各専用 二疊 材料用 若干 籠 箕 金箕
穴箱 手押車 播鉢播子木 飯事遊用帚 金鋼笊 篩 新
聞紙 匙 見本箱 小箱又は空袋多數 引出付机 鉛筆、
季節の天候によりて室内室外適當に眞塵を敷きて場所
を定む。室内は主任室の一隅に何時にても用具使用さる
る様備へおく、外専用具は物置に置き、幼兒の望により
助力して適當なる所に運びます。

一、材料は園外保育の際 園庭にて遊ぶべき等得た落葉花
片等又は家庭より野菜の葉、生花の廢物雜草等持參する
時は必ず主任に見せ、居らぬ時は机上に置いて行き、又相
談に參ります。主任は目を通す丈でよいとする物も、觀察
させ名稱形態特質效用注意等を話合ひます物も御座いま
す。他の幼兒にも自由に聞かせます。不潔なる物、虫害
ある者等は各自にて先きに注意して參ります。園にても
若干の材料を常に用意して何時誰でも使用出来る様に致
しておきます。新材料が無い時の用意には櫻の枯葉、梧
桐、ポプラの葉等澤山ある時に集め乾燥させブリキ罐に

入れて保存して置き何時でも入用の時は使用出来る様に
しておきます。

材料の乾いたのを見て揉み播鉢に分けて播り、金鋼笊又
は小さき篩にてふるひ袋又は箱に入れ字の書ける者は印
をかき機の引出しに入れ道具を片付け手を洗ひに行きま
す。放課後弟妹を引連て來て夕刻まで此遊びをして居る
者もあります。鼻で呼吸をする様注意を與へ置きますか
らよく鼻をかんで始めます。數人づゝ位代る代るやつて
居りますが、殆んど粉を混合させたり、飛散させる事も
なく大事にして健康上の障碍となる様な事は是迄認めら
れません。食前の時は含嗽させる様致します。水分多く
日光にて短時間に乾燥せぬ物は金箕鐵葉箱に入れころ火
にかけ乾燥させて與へます。

一、幼兒の努力によつて得た材料は之を種々に應用されま
す。飯事遊。商ひ遊びの材料となり圖書手工を始め人形
劇其他の背景祝賀會等の額に應用され又材料によりては
蟲除きなります。

使ひ方、大體の構圖をなし、クレオン又は草の露にて下
塗をなしたる後砂繪の如く糊をぬりて此材料を用ひ、

二色以上を用ゆる時は一色づゝ用ひ、其上に塗る必要ある物は一度紙を起し拂ひ落し（直接手を觸れず）後新聞紙を上へのせ平にこすりおく。

少しく乾くをまち其の上へ同様に糊をぬり粉をふる。保存上、仕上の際、尙一回繪の上に糊を塗りおけばよし。繪本の破れ等から適当な人物動物等切つて貼るこ面白ものが出來ます。

一、長所及短所

一、長きする所は自然美を其まゝに表現するの感ある感じよき色なること

一、厚みある繪をかく事を得

一、無償にして廢物利用となり、多量に用ゆることを得

一、普通繪の具は幼年者には不適當なるも、之は自由に弄びてよきこと

一、家庭裝飾用としても興味あり
一、見榮えする繪なること



木の繪葉の應用（藤枝幼稚園）

一、原型の儘はりたるものより、永く保ち又變色するも上塗を幾度にもなし又新らしき色なること
一、芳香なるもの蟲害を防ぐ物あること

又此遊びにより感覺練習、植物觀察、有毒植物に注意する。協同一致、自己充實、忍耐努力、秩序正確、晴天外遊びを喜ぶ、自然美の愛好等の良傾向を認めます。

短所とする所は、變色し易き事、（變色せぬ物もあり）有毒物に注意すること、散り易き事

一、材料選擇竝に諸注意

手近に有るもの、有毒ならざるもの、大量得らるゝもの。蟲害又變色の甚だしからぬもの、惡臭な

は不潔ならざるもの、

きもの、等を選ぶ様致させます。

尙美しき花をまり枝を折る等の事は常に注意を與へておきますから餘り御座いません。

材料としては普通、梧桐、豆類の葉、糸爪、里芋、桑、やぶからし、よめな、はこべ、みつば、栃等の葉、唐もろこしの冠毛、金仙花、ほうづき外皮、竹の挽粉等、山吹、百日紅少しく火氣を要する事ある物は楠、銀杏、杉、檜、槇、蜜柑其他果皮、ダリヤ、菊等の花片、粉ミならず綿の如くなるもの、ぶどう。蓬の葉。柿の葉は變色し易し、葉鶏頭、漆、ひかん花、朝顔、其他有毒植物を避けること。

地方により種々よい植物がお有りになる事存じます。が、餘り乾燥に手数の掛る物はお勧め出来ません。茶色綠色黄色とあれば先づ繪が出来ます。櫻の枯葉は一番必要です。からある時拾つておくに宜しいのです。作りました繪は壁に貼るか新聞紙でものせて平にしておくこと、乾燥に過ぎ平にされない時は裏から少しく霧をふいて押をおけばなほります。

尙、應用の一法として、楓、銀杏、其他の木の葉の一面にのりを塗り、紙面にはり、直に其葉をはがし粉をふりますと美

しい葉が表はれます。裏面にぬれば脈がはつきり出る代りに、糊がつきにくい所が出来ます。表にぬれば此反對ですから必要に應じてごちらでもよろしいのです。動物、花、人物等の形を切りぬきて紙の上におき、其縁よりかけて外に糊を塗り、上よりふるひにてかろく粉をふりかけ後、形紙をこるはつきりした形が現はれます。又此反對にまはりの形をおいて中に糊を塗りて粉を同様ふりますと反對に其形が描かれます。又此外、草の葉、やぶからし、はこべ、つゆくさ、大根の葉、かたばみ、ふき等の葉、ダリヤ、カンナ、つゆくさ等の花等のみみ汁、又實より美しい汁の出るもの等がありまして是等を應用しますと美しい繪が出来ます。天然自然の植物の葉、花、實殆ど其儘に捨てがたくありません。又自然に之を誘導する者は其必要上から興味を以て研究が出来ます。

右永々不文要領を得ず、我田引水の事のみ申述御紙面を汚しました事を深く御詫び申上げます、尙未熟なる試に付今後共充分なる研究を致し度いミ存じて居ります。何卒今後も諸先生の御教導を賜り度御願申上ります。

時恰も晴空秋朗の好時節を迎へ益々諸先生の御健康を祈り奉ります。